



羽ばたけ

令和2年9月15日 <第9号>

クワガタ虫

小清水小学校長 可児隆洋



7月を過ぎて暑くなって来た頃から、学校にいろいろな生き物を持って子ども達が登校してきました。最も多いのはクワガタ虫です。このあたりに住んでいる子にとっては日常ですが、都市部に住んでいる虫好きの子にとっては、夢のような場所なのです。都市部では、身近に昆虫を見ることが少なくなっていると聞きます。このあたりも、道はアスファルトに覆われ、脇の草地もきれいに刈り払われ、きれいに

管理されています。そのため、昔よりは身近な昆虫たちがずいぶん減ってきているでしょう。しかしそれでも、少し足を延ばせば草むらや雑木林がある環境があります。そこには、まだたくさんの虫たちが暮らしているようです。

郊外に住まいのある子はもとより、徒歩で通学している子さえ、学校に来るときに、街路樹や街灯の下に落ちているクワガタ虫を見つけてきます。時には、学校の防犯灯に引き寄せられ、学校の網戸で朝まで休んでいるところを見つけることもありました。

明け方に鳥に襲われたのでしょうか、頭だけのクワガタ虫を持ってくる子も珍しくありません。頭だけだけど生きてるからかわいそうと言って、校長室に胴体のないクワガタ虫が運び込まれることも何度かありました。たしかに、足も触角も動いているのです。「まだ生きてるから飼ってあげたい」という優しい気持ちが集まり、虫ケースの中がクワガタ虫の亡骸ばかりになったこともあります。

学校に来る途中で、生きてる虫を拾った！と大喜びしている子には、とりあえず、「かわいそうだから逃がしてあげたら良いんじゃない」と促します。しかし、ほとんどの子は、「学校で飼いたい」「家に持って帰りたい」と言います。せっかく見つけたのに、逃がすなんて！という気持ちは十分理解できます。

ケースに入れられた昆虫たちの悲しい末路を大人は知っています。だから大人は、「かわいそう」となります。しかし、子ども達は、これからその気持ちを学びます。かわいがっていた生き物の命がなくなる喪失感を味わうことは貴重な経験です。大人はその貴重な経験を奪ってはいけないのかもしれない。虫の命を奪うことになっても、虫を飼って、虫で遊ぶことは子どもにとって良いことだという昆虫学者もいます。残酷だと思える人もいますが、昆虫の個体数に影響しないというのがその昆虫学者の主張です。子どもの頃の虫と遊ぶ経験が、生き物の命の大切さや自然環境の大切さを理解する大人を育てると思えば、それが虫たちのためにもなるということです。

暦も9月になり、そろそろ学校の昆虫たちも役目を終え始めました。しかし、子ども達には、これからの楽しみがあります。虫たちが暮らしていた土の中、朽ち木の中に新しい命が生まれているかも知れません。それは、もう少し後のお楽しみ。その新しい命が、来年もまた子ども達を楽しませてくれることを祈りながら、もう少し新しい命を見守ってみようと思います。

JR北海道社員による出前教室

釧網線を維持活性化するための「マイレール意識」をつくりだしたいという社会の願いと学校の教科「生活科」としてのねらいの達成を兼ねての取り組みです。

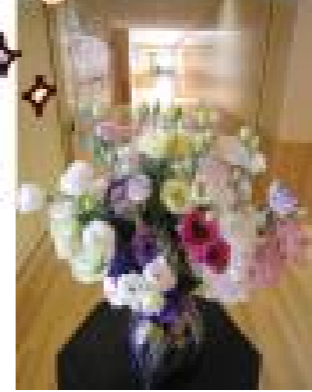
スクールバスで、浜小清水駅まで移動して、そこから藻琴駅までJRに乗りました。バスの中では、列車の乗り方・降り方、JRで働く人のお仕事、線路の安全等について説明を受ける時間がありました。



感染症対策として、1組と2組は別日程で乗車しました。浜小清水までの移動のバスも2台出していただき、3密を避けて実施しています。

ありがとうございます

毎年、習字の特別授業をしていただいている上田睦美先生からお花をいただきました。お花は、心と体の免疫力UPになります。ありがとうございました。



予告なし地震・火災避難訓練



今回の避難訓練は実施する日を子ども達に教えない避難訓練でした。ただし、防災週間として、地震や火災に備えての安全指導はしていました。避難後の講評として、子ども達の訓練中の真剣な態度や、事前に指導されていた地震や火災の時の安全行動が褒められていました。

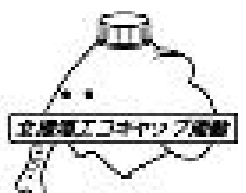


リングプルとエコキャップ



回収は児童会活動の一環で行っています。今日は、全校児童の協力で集められたものを児童会全員で社会福祉協議会まで届けてきました。

リングプルは車椅子を購入し寄付するためのものです。車椅子1つに変えるためにはおよそドラム缶7~9杯くらいのリングプルが必要だそうです。また、ペットボトルキャップを分別回収すれば、エコキャップとして資源の再利用ができ環境の保護に役立ちます。



いじめ早期発見チェックリスト

早期発見のための確認が終わりました。このチェックリストは、いつ起こるかわからないいじめや問題行動について様々な側面から確認するものです。今後も日常的に見守るための観点として活用してください。

いじめ早期発見チェックリスト【教師用】

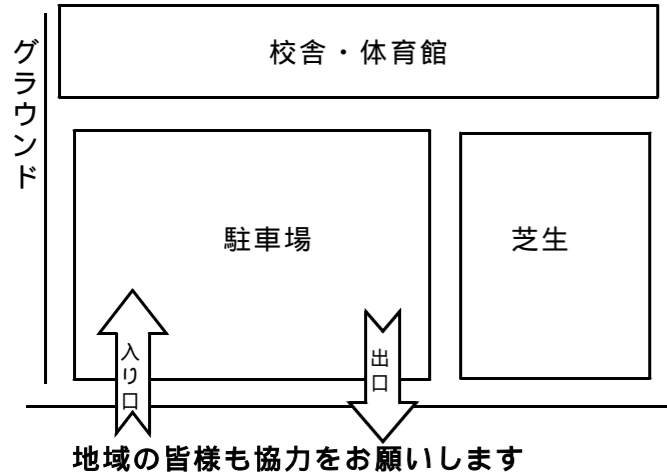
遅刻・欠席・早退などが増えた。
朝の健康観察の返事に元気がない。
教室に入れず、保健室などで過ごす時間が増えた。
学習意欲が低下したり、忘れ物が増えたりしている。
授業での発言をひやかされたり、無視されたりしている。
グループにする時、机を離されたり、避けられたりする。
休み時間に一人で過ごすことが増えた。
遊んでいる時も、特定の相手に必要以上に気を遣う。
遊び仲間が変わった。
給食のおかずの意図的な配り忘れや、不平等な配膳をされる。
重い物や汚れた物を持たされることが多い。
清掃時間に一人だけ離れて掃除をしている。
責任を押し付けられたり言及されたりすることが多い。
帰りの会終了後、用事がないのに下校しようとしない。
練習の準備や後片付けを一人でしていることが多い。
急に少年団や習い事をやめたいと言いつつ、グループ分けなどで、なかなか所属が決まらない。
本意ではない係や委員に無理やり選出される。
衣服の汚れや擦り傷等が見られる。
持ち物や掲示物等にいたずらや落書きをされる。
持ち物がなくなったり、壊されたりすることがある。

いじめ早期発見チェックリスト【保護者用】

朝、起きられない。布団からなかなか出てこない。
朝、頭痛や発熱等を訴える。
昼夜逆転した生活をする。
朝、トイレや部屋から出てこない。
昼ごろから元気になる。
下校後、ぐったりしている。
帰宅が急に早くなる。
急に落ち着きがなくなる。
家からお金を持ち出したり、必要以上のお金を欲しがったりする。
学校を休みたがる。
日記等に悩みなどを書く。
学校や友達のことを話さなくなる。
食欲がなくなったり、だまって食べたりするようになる。
擦り傷、あざをつくって帰宅する。
いじめの被害等を話題にする。
休日や夏休み、冬休み中は体調不良等の症状が出ない。
先生が嫌いだという。
自分の部屋、家に閉じこもりがちになる。
表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
友達がいけないと言う。
友達に笑われたりからかわれたり、意地悪されたと言う。
友達を避けるようになる。
小心、内気、心配性である。
勉強がわからないという。
ほかの欠席者を話題にする。
明るさが次第になくなる。
自分の欠点を強く気にする。
転校したい、生まれ変わりたいと言う。
メールのやり取りが増える。
携帯電話やメールの着信音におびえる。
寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
学校で使う物や持ち物がなくなったり、壊れたりしている。
教科書やノートにいやがらせの落書きをされたり、破られたりしている。
服が汚れていたり、破れたりしている。

一方通行 お願いします

学校の駐車場は、危険防止のため、一方通行の協力をお願いします。



地域の皆様も協力をお願いします

自転車の乗り方について

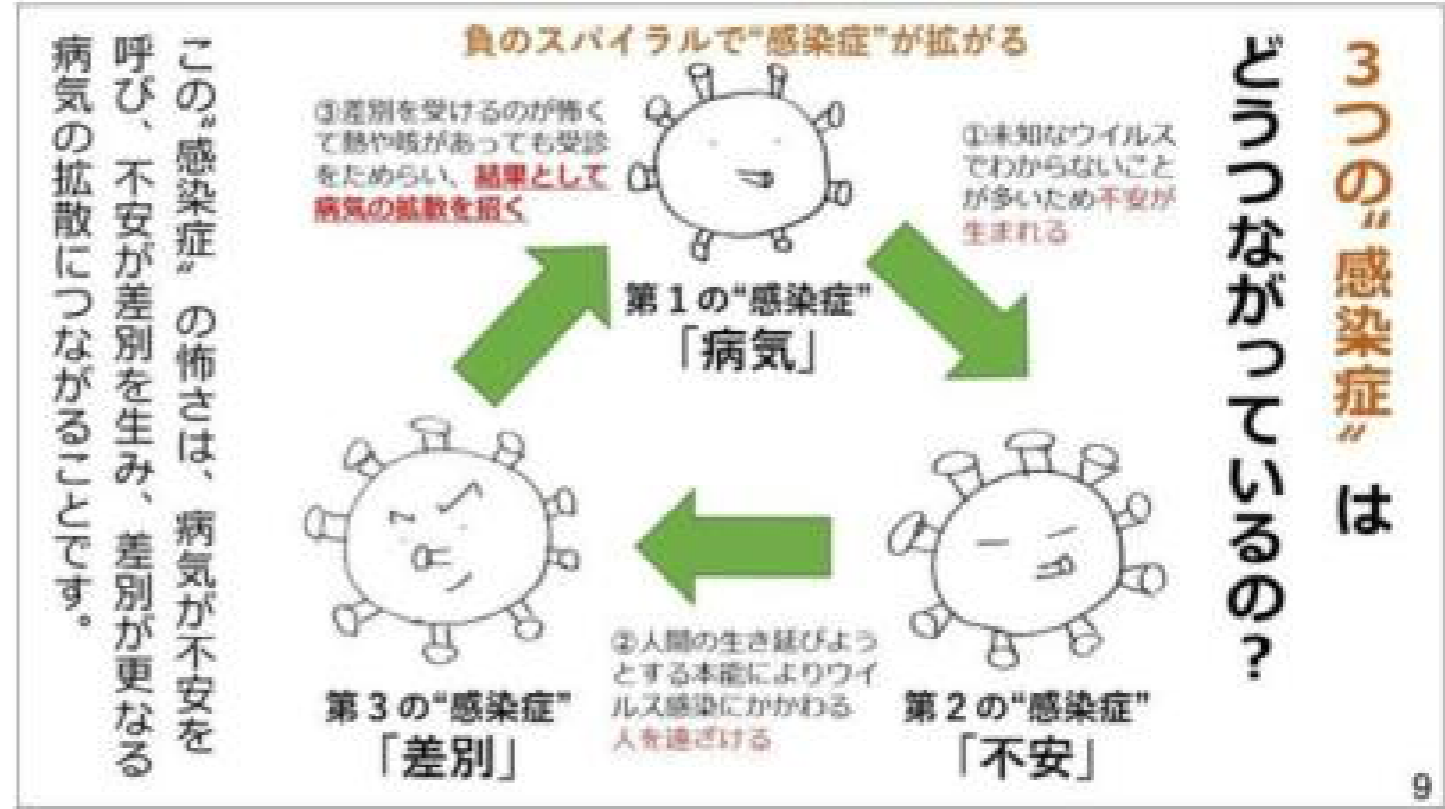
町内で自転車に乗っている児童について、地域の皆様から、ご指摘をいただくことが相次いでいます。日頃から、子ども達の安全のために見守りいただき感謝しております。
ご指摘を受け、あらためて学校として指導を行いました。

- 指導内容
- ①交差点での一時停止をすること
 - ②横断時の左右確認をすること
 - ③歩道や路側帯を走行すること
 - ④横並びの走行はしてはいけないこと

これらは、重大事故につながらないように自転車に乗る上で守るべきルールです。このことをふまえて、保護者の皆様もあらためてお子様の自転車の乗り方についてお話をさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。



日本赤十字社のサイトをご紹介します。学校も感染対策は徹底していますが、感染リスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があるということを前提として、現時点での科学的知見に基づいてこの感染症に正しく恐れ、正しく向き合う必要があります。



第1の感染症を防ぐのはもちろんですが、学校・保護者・地域に広げてはならないのが「第3の感染症」です。「第3の感染症」を防ぐためには、不安をあおったり、病気に対する偏見・差別をさせないことが大切です。

9日の全校朝会では、小清水には、コロナウイルス感染症になった人はいませんが・・・、

万が一、うつった人がいても、その人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えることに協力してください。

という話をしました。さらに、この事態に対応している方々や、社会を支えている全ての人々に敬意を払って労う心を学校は育てて行かなければいけません。過日、配付した「保護者や地域の皆様へ」をあらためてお読みいただき、学校における感染症対策と教育活動の両立にご理解とご協力をお願いします。ホームページに「日本赤十字社のサイト」と「保護者や地域の皆様へ」を掲載しています。

小清水小学校ホームページ
月間学校行事予定・年間行事予定も閲覧できるようになっています。

随時更新しているので、ホームページの方もご覧ください。
<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/elementary/>



羽ばたけ

令和2年9月30日 <第10号>

カブト虫

小清水小学校長 可児隆洋



もう、子ども達は忘れているかもしれませんが、今年の春は、ホールでカブト虫が飼育されていました。このカブト虫は、昨年の夏から秋にかけて、ホールで飼われていたカブト虫の子孫です。昨年の夏に生まれた卵が幼虫になり、半年間、昆虫ケースの中で育てられてきました。校内が暖かかったせいか早熟で、今年の3月に蛹になり、4月には羽化して成虫になってしまいました。しかし、蛹から出てきたのは、とても小さなカブト虫でした。

保護者の皆さんも、教員も、地域の皆さんも「子どもを育てる」という共通項でくくられます。しかも、例外なく試行錯誤して悩みながら子どもを育てています。時には子育ての正解を求めて書店を訪れます。「イライラしない子育て」「賢い子に育てるコツ」「楽しい学級の作り方」「できる教師のほめ方・叱り方」。書架に並んでいるタイトルだけを読むと全てのニーズに応えられそうです。

しかし、ここまで真剣に悩んでも子どもを育てている間は、その正解はわかりません。仮にその子が大人になって結果らしきものが出て、それが本当に正解なのか、正解は1つだけなのか、そもそもどの時点で大人なのか。結局、私達は、正解がわからない中、その子の理想の将来像を描きながら子育てをしています。

私がサッカーチームの指導をしていた頃、「子どもは『小さな大人』ではない」というキーワードに出会いました。小学生年代の指導者は、自分の理想のサッカーを追い求めて、子どもに大人のサッカーの縮小版を教えるはいけないという戒めです。この戒めには、「教えすぎずに、子どもに判断させなさい」「大人が先回りしないで、失敗をさせなさい」「失敗と成功を繰り返して、気付かせなさい」という意味が含まれています。

子ども達は、自分で考え判断させれば、自分で見つけた答えを簡単に忘れることはありません。そして、失敗から学ぶこと、失敗を恐れず何度でも挑戦する気持ちを身につけさせることもできます。子ども時代には、このような失敗や成功の繰り返しをたくさん経験できる環境を与えることが大切です。これは、スポーツの指導者に限らず、子どもの成長に関わる全ての大人が子ども達に与えなければならない環境だと思います。

なぜ、学校で飼っていたカブト虫は小さく産まれてしまったのでしょうか。カブト虫やクワガタ虫は、成虫になってからどんなに高級なゼリーを与えても大きく成長できません。カブト虫の体の大きさは、幼虫の時に食べたエサの量で決まるのです。

何よりも大切なのは、幼虫であるうちに、たくさん食べることです。エサをたくさん食べて、栄養を摂った幼虫が大きく成長し、大きなカブト虫となります。豊かな環境で幼虫時代を過ごしたものが、しっかりと成虫になることができるのです。

日	曜日	10月の行事予定	下校バス	
			14:45	15:45
1	木	運動会前日準備		
2	金	運動会(1~3年:3・4校時, 4~6年:5・6校時)		
3	土			
4	日			
5	月	全校朝会 ぐるぐる先生週間(9日まで)		
6	火			
7	水	二計測 1~3年		
8	木	二計測 4~6年 やまびこタイム 5・6年		
9	金			
10	土			
11	日			
12	月	委員会		
13	火	クラブ 視力検査 1・2年		
14	水	視力検査 3・4年		
15	木	視力検査 5・6年 1の2永井さん読み聞かせ		
16	金			
17	土			
18	日			
19	月			
20	火	令和3年度就学時健康診断 14:00~		
21	水	スクールバス乗車指導		
22	木			
23	金			
24	土	土曜授業 3時間授業・給食なし 巡回小劇場「中国雑技団」	11:50	×
25	日			
26	月	委員会		
27	火			
28	水			
29	木	後期児童会総会		
30	金	放課後児童クラブスポーツ塾 体育館 14:00~17:00		
31	土	放課後児童クラブスポーツ塾 体育館 10:00~12:00		

小清水小学校ホームページ
月間学校行事予定・年間行事予定も閲覧できるようになっています。

随時更新しているので、ホームページの方もご覧ください。
<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/elementary/>



クラス対抗の熱戦

9月1日からおよそ一週間かけて、ドッジボール大会が開かれました。体育委員会が企画したのは男女別の学級対抗戦です。

初日の対戦、1年1組女子VS1年2組女子を皮切りに、最後は5年男子VS6年男子で締めくくりとなりました。どの試合も熱戦が繰り広げられ、クラスの団結も一層強くなったようです。



漢字検定に挑戦!



9月11日(金)小学校会場で漢字検定がおこなわれました。小学生は、37名が5級から10級まで挑戦していました。中学生の19名参加を合わせて、合計56名が受験しました。

いつもとは違う緊張感で40分~60分の制限時間で一杯がんばっていました。

分散やまびこタイム

やまびこタイムも分散しました。

いつもは全校集会なのですが、今年度は2学年ずつ分けておこなっています。種目は「3段のかべ」「ふやしおに」「おひっこし」「しっぽとり」等です。

写真は、9月17日2年生と4年生の「おひっこし」でオニが真ん中でまちかまえているところです。うまくおひっこしができるでしょうか。



今年は秋の運動会になりました

延期が検討されていた運動会を10月2日(金)に開催することになりました。運動会とはいっても、平日の開催となり基本的に普段の体育の学習の成果を発表する形です。しかも、低学年と高学年を午前と午後の2部に分けての開催となります。写真は、全員リレーの練習の様子です。いつもの選抜リレーとは違い、みんなが主役のリレーに向けて気合いが入りました。



臨時休校/分散登校の授業への影響は?

「子ども達に変わりはありませんか」「教科書は終わりそうですか」「運動会は?学芸会は?」保護者や地域の方とお話することがあると、ありがたいことに、必ず学校のこと、子ども達のことを心配して下さいます。

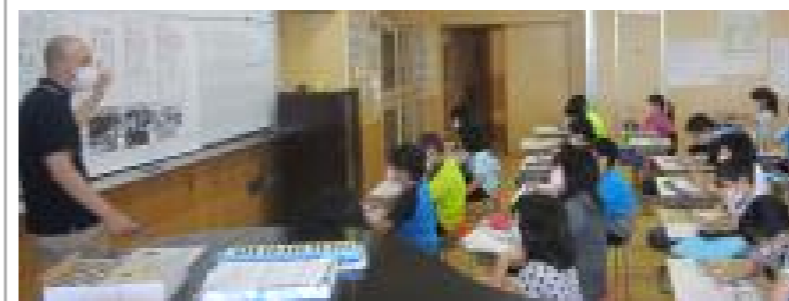
心配された夏休み明けも、感染症の影響は無く、10月の運動会にむけて練習を始めることができました。夏休み短縮、土曜授業の増加、休日から授業日への変更等により授業日数を増やすことで、子ども達の「学びの保障」も順調に進めているところです。



授業日数を増やすことに加え、限られた授業時間の中で学習内容を効果的に指導する工夫もしています。

高学年は、遠足で町内のゴミ拾いをしました。算数で学習した資料の整理をした上で、国語では、調べた上で報告しようという学習につなげました。

これからの子ども達は、伝え合う力を高めることを求められています。相手の話を受けて、話をつないだり、立場を踏まえて話し合ったり、文章を読んで考えたことを伝え合ったり、様々な形で取り組んでいます。



音楽は、まだ合唱指導等を十分にすることができていません。

授業では、歌詞を読んで、曲にふさわしい音楽表現を工夫したり、感じたことについて話し合う活動を優先しています。器楽合奏指導は各学年共に少しずつ通常に戻ってきました。

算数を学ぶ楽しさを感じるには、具体的な体験を伴う学習を通して、理解をしたり、算数を学ぶ意義を実感したりすることが大切です。そして、課題を見つけたり、話し合いや工夫をして解決します。これも学校で扱うことが望ましい学び方の一つです。

今回は、一部の一例をご紹介しました。今後もそれぞれの目標や必要性を確認し、感染対策をした上で、工夫と配慮をしながら子ども達の学びを保障していきます。

